



大阪錦画日々新聞紙

盤前縣吏賊事

月去官員區長七八名

取酒大醉湯本駅で

遊むと同行連れ

車でいそぐ

暮八時負小乗して理の

轆ありみ遅車大

をぶつて官員人心せ

折ら木の本ぶより凶賊又

物を推及て躍りかろふ車夫ハあざ去り

官員目かけ切かる左の肩に切込し官員

ハ防ぐ寸鉄あるれハ無頭組付あせれど

疵の弱り心許さる一計生ト命をたきけ玉の

金を残るふと欺むれる曲者の油断ハ自らを害す頼をすと

修之助

寫之

切付る怖し賊ハ逃げ
官員ハ痛手を押へ民衆
入る此賊ハ高坂村
豪族の子
あて獲決

賊を矢ひ此
所行あると天鏡光とせ
續前報知五百七十八号

修之助